

ワークショップの内容を市民の皆さんにお知らせするため、ニュースレターを毎回発行していきます！

### 近鉄郡山駅周辺まちづくりのすすめ方

3つのステップ

市では、3つのステップに沿って、市民の皆さんと一緒にまちづくりに取り組んでいます。

現在は、STEP2「まちづくり基本計画」の策定に向け、昨年引き続き、市民の皆さまのご意見を反映させるため、ワークショップを開催しています。

#### STEP1 まちづくり基本構想

まちづくりのコンセプトや将来像、方向性を決定する「まちづくり基本構想」を策定

基本構想コンセプト  
「城下町の風情を活かし、いきいき暮らせるまちづくり」  
(H.28年8月) 策定

#### STEP2 まちづくり基本計画

目指すべきまちの姿の実現に向けた具体計画の検討、まちづくりを推進する体制を構築

現段階：ワークショップ開催

#### 具体的な取組み検討

- ・駅や道路の整備計画
- ・商業の活性化策
- ・市民や行政が主体となる取組み
- ・まちづくりを推進していける人材育成
- ・体制の構築 など

#### STEP3 個別具体事業化

目指すべきまちの姿の実現に向けた具体計画に基づく事業化・整備

### 第1回ワークショップを3月31日に開催しました！

上田市長より

「まちづくり基本計画」策定に向けて、第1回ワークショップ開催を楽しみにしています。ワークショップでは、思い切ったアイデアを出してください。夢を語りましょう。

“ゲニウス・ロキ”という、先人が積み重ねてきた暮らしや歴史によって生み出される土地の精神を表す言葉があります。ここは城下町の思いがあり、その上に我々がいます。先人に対する敬意を忘れず、歴史をベースにして、いきいきと暮らせるまちづくりを考えていきましょう。

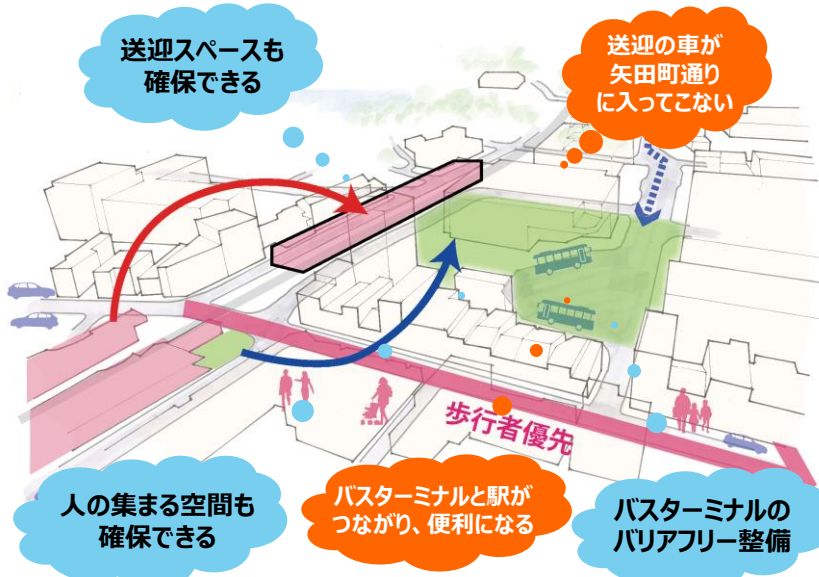


### 駅と駅前広場を北側に移設してみたら？

現在、近鉄郡山駅周辺には次のような課題があります。

- ・自動車、歩行者、自転車が錯綜していて、安全な通行環境が確保されていないこと
- ・人が集まるスペースが不足していること など

将来、駅と駅前広場を北側に移設することができれば、**バスターミナルのバリアフリー整備**、**送迎スペース**や**人の集まる空間の確保**が期待でき、現在の近鉄郡山駅周辺の課題解決につながると考えています。市では、この案を前提に検討を進めていきたいと考えています。



グループに分かれて議論しました！

まちづくりについて様々な意見が交わされました。







# テーマ 「これから検討する駅周辺と矢田町通りの在り方」

① 駅周辺をどんな場所にしていきたいですか？ ② 将来の駅周辺で何をしたいでしょうか？

## A グループ

- ・立ち寄れる場所・建築巡りの起点となる場所 (時間、空間、情報)
- ・人と出会う、一人で仕事もできる場所
- ・音楽ライブ (イベント) のできるスペース
- ・地方の人にも「城下町」「金魚のまち」を感じて歩いてほしい
- ・家族でも食事がしたい
- ・若者向けの買物が欲しい。カフェ、古着屋
- ・自動車の南北移動危ないと感じる
- ・歩車分離。立体でなく平面で解決できるといいな

空間

機能

まちの顔

交通



## B グループ

- ・バリアフリー・誰もが使いやすい施設 (生活する人便利、安全、楽しい)
- ・雨にぬれない場所、トイレがない
- ・学校帰りに立ち寄る場所がない
- ・駅前に新しい公園はいらない (三の丸公園を活用)
- ・情報 (多言語表記)、観光案内
- ・通勤は便利だが、託児所、保育所などがもっとあるといい
- ・飲食店を増やしてほしい
- ・矢田町通りは歩行者中心にしてベンチ、オープンカフェを設置

空間

観光

機能



## C グループ

- ・広場があればいい (イベントやコミュニケーション、憩いの場)
- ・駅が北側に移動すれば、近くの施設にアクセスしやすくなる
- ・街の顔にふさわしい駅前にした
- ・飲食のお店が不足している
- ・空き店舗を貸したくない
- ・観光をもっとしやすい場所があれば
- ・柳町通りは車が多く危険
- ・車は通れるけど通りにくい道にすれば良いのでは

空間

機能

まちの顔

観光

交通



## D グループ

- ・駅の機能は何？ 使う人は誰？ 誰が「利便」「安全」を享受するかを考える
- ・いざという時 (災害時) に広いスペースがあればよい
- ・ロータリーだけでなく、周辺を巻き込んだ連続的なオープンスペース
- ・駅を北側に移すのはいいと思う
- ・夜でも明るく、帰ってきたくなるような「まち」の玄関に
- ・広場にまちとして個性を高めたい
- ・矢田町通りは歩行者道にしては？

対象

空間

まちの顔

交通



## E グループ

- ・定期的にイベントができる空間 (地域産物の出店など)
- ・市民が自由に使える空間
- ・降りたときに郡山のシンボルになるもの (例えば、金魚、城下町)
- ・金魚ボックスみたいなものがほしい
- ・橋上駅は不便
- ・駅2Fレベルで役所、高校へのアクセスを確保
- ・ランチを食べる所が少ない。
- ・駅前には買い物できるようにしてほしい

空間

駅の構造

まちの顔

機能



### 会場の様子



1、2回目はどういう方向性にするのか、話し合いをしましょう。住民、学生、観光客など様々な立場からの視点を調整するのが「まちづくり」では大切です。空間づくりは行政が行っていきますが、どのように使うかは住民のみなさんにゆだねられています。

アドバイザー  
久先生  
より